

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

113

鉄道活性化事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	1	コンパクトシティの実現
施策	2	公共交通体系の充実
取組方針	1	公共交通機関の利用促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
中事業	鉄道活性化事業			

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域公共交通網形成計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課	山中 康史 435-1016
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	JR紀勢本線及びJR和歌山線をはじめとした鉄道路線の活性化に向け、利便性向上や利用促進を図る。		JR紀勢本線、JR和歌山線等の市内鉄道路線は、市民の通勤・通学あるいは、通院やレジャーなどあらゆる目的に必要な移動手段であり、また、市外の都市を結ぶ広域的な路線であるため、利用者の減少によるサービスの低下等に陥らないよう利用を促進していく。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	320	325	321	331	321	292	321	0	321	0
伸び率(%)	0%	0%	0.3%	1.8%	0%	△11.8%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,474	5,355	2,497	2,417	2,787	3,663	3,902	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,474	5,355	2,497	2,417	2,787	3,663	3,902	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	320	325	321	331	321	292	321	0	321	0
所要人数(人)	正規職員	0.81	0.67	0.31	0.30	0.35	0.46	0.49	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	旅費51千円 負担金270千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	紀勢本線活性化促進協議会(総会、幹事会)への参加	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3		
			達成度(%)	66.7%	100%	100%	%	%
活動指標	和歌山線活性化検討委員会(総会、幹事会)への参加	回	目標値	3	3	3	2	2
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	66.7%	66.7%	66.7%	%	%
成果指標	年間輸送人員(紀勢本線)	人	目標値	8,878,787	8,896,334	8,913,881	8,931,428	8,948,975
			実績値	9,019,515	8,888,115	6,775,860		
	達成度(%)	101.6%	99.9%	76.0%	%	%		
	年間輸送人員(和歌山線)	人	目標値	565,521	566,638	567,756	568,874	569,991
実績値			571,225	541,660	454,425			
達成度(%)	101.0%	95.6%	80.0%	%	%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	JR紀勢本線、JR和歌山線等の市内鉄道路線は、市民の通勤・通学あるいは、通院やレジャーなどあらゆる目的に必要な移動手段であり、また、市外の都市を結ぶ広域的な路線であるため、利用者の減少によるサービスの低下等に陥らないよう利用を促していく必要がある。
見直し・改善内容	和歌山線活性化検討委員会では、鉄道の利用促進を図ることを目的に、イベント列車運行事業や絵画展示事業等に取り組んでいるが、その参加者数を増加させるためにも、できるだけ早い時期に広報が行えるよう取り組む予定である。